

令和7年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和7年8月28日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 IPU 環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト
氏 名 経済経営学部 現代経営学科 特任准教授 扇野 睦巳

令和7年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」

取組の名称	IPU 環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト for Children ー子どもと未来を描くウェルビーイング&PBL モデル
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを300字（句読点含む）以内で記載してください。	本取組は、子どもが「体験を通じて学び、振り返り、次の挑戦へつなげる」ことを重視しています。食育（ジビエ）、県産品による商品開発、ラグビー体験と食文化の融合、多文化交流、高校生向け主権者教育といった活動を展開し、学生と子どもが地域や社会課題に触れながら未来を描く力を育成します。これらは文部科学省が提唱するウェルビーイング（自己実現・自己肯定感と、つながりや社会貢献意識の両立）を高める学びであり、PBL（課題解決型学習）の実践モデルでもあります。

成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	① 子どもの成長と学びの成果 ●食育（IPU ジビエやスイーツ開発）を通じて、子どもが「命をいただく学び」「地域資源を活かす知恵」に触れ、自己肯定感や創造力を育んだ。 ●ラグビー体験や異文化交流では、仲間と協力する力や多様性理解が深まり、ウェルビーイングの向上につながった。 ●高校生向け主権者教育では、投票や民主主義を「楽しく体験できる仕組み」として提供し、社会参画意識が高まった。 ② 解決した社会課題・アプローチ ●大学周辺の害獣イノシシの活用により、環境保全と食資源の循環利用を子どもと地域に広げた。 ●地域食材を活かしたスイーツ開発により、地産地消・食品ロス削減に寄与。 ●全国の都道府県と比較して岡山県自体の投票率の低さという社会課題に対し、若い世代が主体的に政治参加を考える機会を創出した。 ●多文化イベントを通じて、国際化する岡山における共生社会づくりに貢献。 ③ 地域への波及効果・変化 ●学生と地域の協働が、地元企業や行政との新しい連携を生み、地域コミュニティの基盤を強化。 ●学園祭・地域イベントでの実践がメディアに取り上げられ、岡山発の取り組みとして全国的に注目。 ●一般財団法人ブランドマネージャー認定協会による「ブランド検定3級」の最年少（15歳）の資格取得者を岡山県立東岡山工業高等学校から排出した。
--	---

●次の書類等を添付してください。

①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式2〕取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）1枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	IPU 環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト ― 子どもと未来を描く学びと実践の協働モデル	
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 本取組は「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」を体现するものです。ジビエを活用した食育、岡山フルーツを使ったスイーツ開発、ラグビー体験と食育の融合、多文化理解イベント、そして高校生向けの主権者教育など、多彩な体験を通じて子どもたちが主体的に参加します。体験したことを振り返り、次の行動へとつなげる学びの循環を重視し、子どもが未来を描く力を育む地域協働モデルです。	
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 <パーパス（存在理由）> 人と地域と地球のウェルビーイングを育む ～「つくる・つながる・つたえる」体験を通して、持続可能でしあわせな社会を創造する力を育てる～ <ビジョン（目指す未来）> すべての人が自分らしく生きられる社会の実現 <ミッション（やるべきこと）> ① 子どもが自己肯定感を育み、将来の夢や目標を描ける力を養う。 ② 食・スポーツ・文化・政治参加といった多様な課題を「学びの素材」とし、課題解決に挑む体験を通じて、社会貢献意識を高める。 ③ 大学・企業・行政・地域住民の協働により、地域社会に根ざしたウェルビーイングの実現を支える。	
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1. 対象 岡山市内の小中高大生、地域の親子、留学生 年間延べ参加人数：約500名 2. 活動内容・実施方法 IPU ジビエ：子ども食堂やキッチンカーでの体験を通じて「命をいただく学び」と環境問題を考える。 IPU スイーツ（レモネード）：小中高生と大学生と一緒に商品を開発・販売。創造性や挑戦する力を育む。 IPU エシカルアスリート：ラグビー体験と食育を組み合わせ、体を動かす楽しさと地域食文化を学ぶ。 IPU カルチャー：留学生と子どもが共に料理・文化交流を行い、多様性理解と共生の姿勢を育む。 岡山県投票率日本一プロジェクト：高校生向けに投票や選挙を体験型で学び、社会参画の意識を高める。 3. 工夫点・特徴 ●体験 → 振り返り → 新しい挑戦」という循環を重視し、PBL（課題解決型学習）の手法を導入。 ●ウェルビーイングを育む学び（自己実現＋社会貢献）を意識し、子どもが「学びの受け手」ではなく「未来を共に描く担い手」になよう、座学はなく、食と体験を組み合わせた実践知を重視。 ●異なる分野（食・スポーツ・文化・政治）を統合し、子どもの学びを地域全体で支える協働体制を産学官で構築中。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。 ▼IPU 環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクトHP https://ipu.okayama.jp/	
取組の実施期間	始期： 2021 年 9 月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月 終了 ☐ 令和 年 月 頃終了予定 該当するものに☑し必要事項を記入してください。
今後の活動展開		

など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 ●小中高校の総合学習・探究授業との連携を拡大。 ●子ども食堂・放課後クラブ等とのコラボを定期化。 ●地域住民と一緒に協働する「瀬戸地区交流会（IPU フェスタ）」の開催。 ●食育・商品開発・異文化交流・スポーツ体験・主権者教育に加えて歴史教育を地域と一緒に協働する「岡山モデル」を全国へ広げる。
----	--

協働による 効 果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 大学：学生が主体的に企画運営し、社会に出て役立つコミュニケーション能力と生産性向上を学ぶ。 高校：主権者教育への関心が高まる。 企業：食品開発や販売の専門性を活かした支援。学生や子どもに対する認知度向上。 行政：学校・選挙管理委員会などと連携し、教育・社会参画を支援。 地域：子どもと大人と一緒に参加する場を提供。 →協働によって「自己肯定感」「社会貢献意識」「人とのつながり」を育む環境が生まれ、子どものウェルビーイング向上につながっている。	
協働団体と その役割	団 体 名	岡山市政策局政策部政策企画課
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトによるテストマーケティング費用の支援
	団 体 名	岡山ビューホテル
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	ジビエ関連のメニュー開発支援と子ども食堂の運営
	団 体 名	株式会社アーチファーム
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（生産者）
	役 割	子どもでも食べやすい岡山パクチー（岡パク）の生産者
	団 体 名	株式会社セントラルフーズ
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	食育イベント開催の場所の提供と子ども向けジビエメニュー開発支援
	団 体 名	助け合うお母さんの会
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	瀬戸地区での防災イベント主催
団 体 名	岡山県立東岡山工業高等学校	
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割	若者向け主権者教育のコラボレーター	
団 体 名	カンコーマナボネクト株式会社	
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割	岡山の産業を支える事業所が「社会の仕組み」と「岡山の産業」を楽しく知る場を子どもたちに提供する「キッズビジネスパーク」の企画・運営	

	団 体 名	一般社団法人教育ソリューション研究協議会
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	岡山の産業を支える事業所が「社会の仕組み」と「岡山の産業」を楽しく知る場を子どもたちに提供する「キッズビジネスパーク」の企画・運営
	団 体 名	株式会社いんでいら
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	ラグビーのルールにちなんだえびめし味のフライドポテト「ノットリリースザポテト」の開発協力
	団 体 名	一般社団法人 DESIGN GOALS
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	障がいの有無に関わらず【食べて、飲んで、遊んで、作って】を楽しめるイベントを企画・運営